



2025年3月期 第2四半期(中間期)

決算説明資料

ヨネックス株式会社

証券コード:7906

2024年11月8日

1. 2025年3月期 上期連結決算	3
2. セグメント概況	8
3. 2025年3月期 業績予想	15
4. トピックス	17
5. Appendix	23

売上高

669億円

前年同期比

+16.0%

営業利益

76億円

前年同期比

+37.1%

親会社株主に帰属する
中間純利益

54億円

前年同期比

+23.4%

売上高

- 引き続きスポーツ活動が活発に行われ、当社もさらなる市場の活性化に向け、国際大会や当社契約選手の話題を活かしたマーケティング活動に注力
- バドミントンにおいては、最大市場の中国をはじめ、日本国内やその他アジア地域、欧州でも市場が活性化し需要が堅調に推移
- 海外では円安に伴う業績換算の上押し効果もあり、連結で上期として過去最高売上高を計上

営業利益

- グローバルでのIT強化に伴うシステム関連費用や、減価償却費、人件費の増加に加え、国際大会開催に伴うマーケティング強化により広告宣伝費が増加
- 増収と粗利率改善による粗利増加の影響が大きく増益。連結で上期として過去最高営業利益を計上

一 連結業績

(百万円)

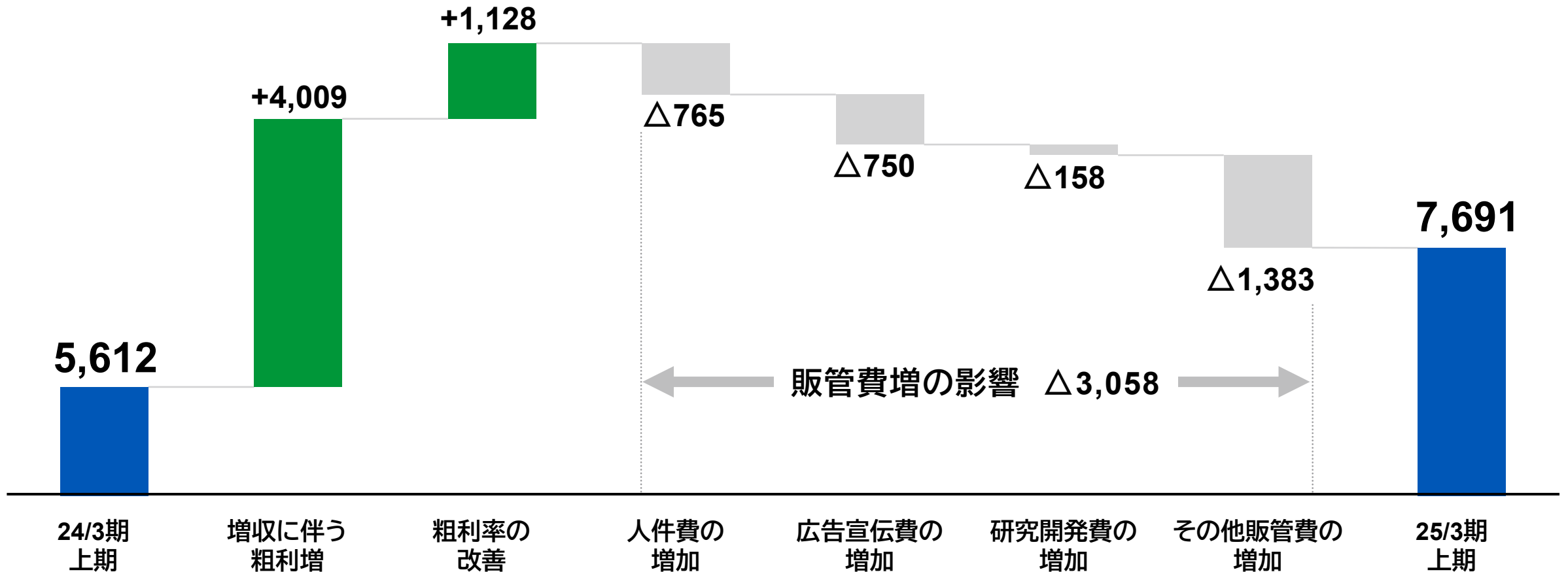
	2024年3月期 上期実績	2025年3月期 上期		増減率 (増減額)	2025年3月期 通期予想*
		実績	売上比		
売上高	57,725	66,942	—	+16.0% (+9,216)	134,000
売上総利益	25,110	30,248	45.2%	+20.5% (+5,137)	—
販管費	19,498	22,556	33.7%	+15.7% (+3,058)	—
営業利益	5,612	7,691	11.5%	+37.1% (+2,079)	13,100
経常利益	6,220	7,344	11.0%	+18.1% (+1,124)	13,100
親会社株主に帰属する 中間純利益	4,396	5,425	8.1%	+23.4% (+1,028)	10,000
1株当たり中間純利益	50.43円	62.68円	—	+12.25円	115.58円

※ 2024年11月8日修正値

一 連結営業利益 増減分析

増収に加え、粗利率の改善も寄与し粗利が増加。販管費はシステム関連費用や減価償却費、人件費の増加に加え、国際大会開催に伴うマーケティング強化により広告宣伝費が増加

(百万円)



一 連結貸借対照表

有形固定資産および有利子負債は、新研究開発施設(Yonex Performance Innovation Center)およびテニス新工場関連の設備投資と、それに伴う借入により増加

● 資産

	2024年3月末	2024年9月末	増減額
現預金	23,549	31,164	+7,614
受取手形・売掛金	17,135	19,189	+2,053
棚卸資産	16,743	16,888	+144
有形固定資産	26,109	28,593	+2,483
無形固定資産	2,333	1,935	△397
その他	5,355	6,722	+1,367
資産合計	91,226	104,493	+13,266

● 負債・純資産

	2024年3月末	2024年9月末	増減額
買掛金・支払手形	6,390	7,865	+1,474
有利子負債	7,750	10,240	+2,489
その他	16,184	18,074	+1,890
負債合計	30,325	36,179	+5,854
自己資本	60,703	68,107	+7,404
非支配株主持分	197	206	+8
純資産合計	60,901	68,313	+7,412
負債純資産合計	91,226	104,493	+13,266

(百万円)

一 連結キャッシュ・フロー

グローバル成長戦略(GGS)に基づく成長投資を強化するため、安定的なキャッシュを確保

(百万円)

	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,299	7,710	+2,411
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,801	△3,115	△1,313
フリー・キャッシュ・フロー	3,497	4,595	+1,097
財務活動によるキャッシュ・フロー	△846	1,528	+2,374
現金及び現金同等物に係る 換算差額	828	1,539	+710
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,479	7,663	+4,183
現金及び現金同等物の残高	19,898	30,843	+10,945

- ・ 棚卸資産の減少(+)
- ・ 仕入債務の増加(+)
- ・ 中間純利益の増加(+)

- ・ 新研究開発施設「Yonex Performance Innovation Center」(新潟県長岡市)
- ・ テニスラケット新工場(新潟県長岡市)

- ・ 借入による収入

セグメントの概要

日本・アジア・北米・ヨーロッパの4つの地域別セグメントから成るスポーツ用品事業と、スポーツ施設事業で構成

(百万円)

セグメント	2025年3月期上期 実績		連結売上高 構成比	業績計上対象		
	売上高	営業利益		販売	製造	
スポーツ用品 事業	日本	28,167	1,921	42.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨネックスジャパン(日本国内向け) ・海外代理店向け* 	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟工場 ・東京工場 ・ヨネックス精機
	アジア	32,438	5,070	48.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨネックス中国 ・ヨネックス台湾 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨネックス台湾 ・ヨネックスインド ・ヨネックステクニファイバー(タイ)
	北米	3,109	329	4.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨネックス北米(アメリカ・カナダ) 	
	ヨーロッパ	2,858	297	4.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨネックスドイツ ・ヨネックスイギリス 	
スポーツ施設事業	369	76	0.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・カントリークラブ、ゴルフ練習場、テニスクラブの運営 		

* 代理店を経由して販売している地域:東南アジア・インド・韓国・フランス・オーストラリア等

セグメント別売上高への為替影響

すべての通貨で円安が進行し、業績換算時の円安効果が連結での増収に寄与。北米セグメントは為替影響を除くと減収

● 為替レート

	1RMB	1TWD	1USD	1EUR	1GBP
24/3期 上期 (1-6月)	19.44円	4.40円	134.84円	145.77円	166.39円
25/3期 上期 (1-6月)	21.05円	4.76円	152.24円	164.59円	192.66円
前年同期比	+8.3%	+8.2%	+12.9%	+12.9%	+15.8%

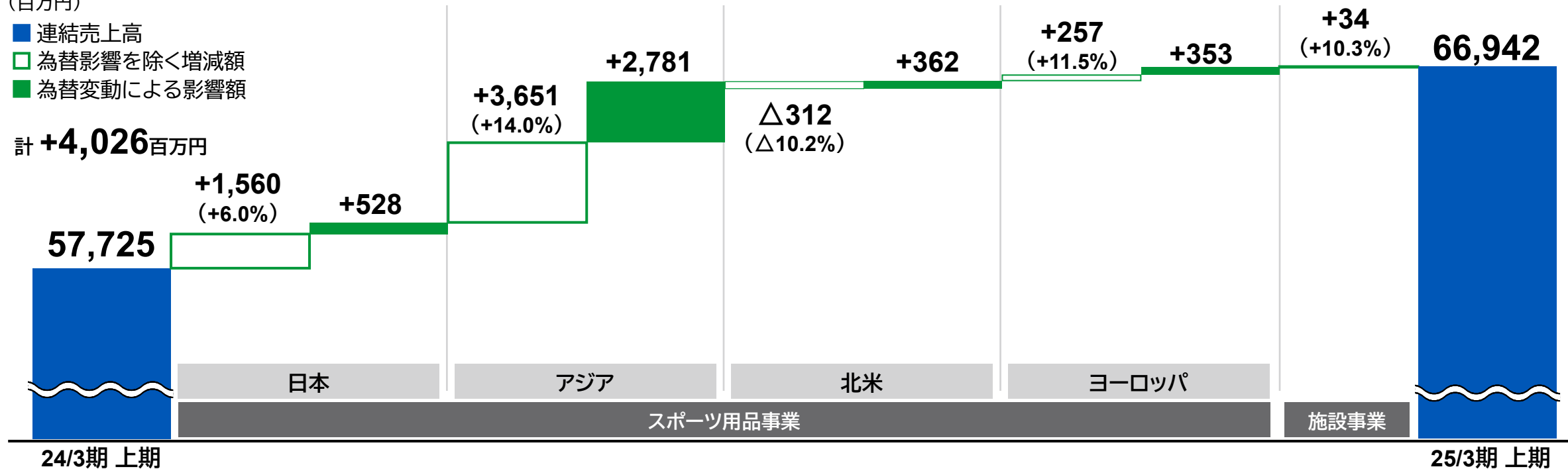
(百万円)

■ 連結売上高

□ 為替影響を除く増減額

■ 為替変動による影響額

計 +4,026百万円



売上高

28,167百万円

前年同期比
+8.0%

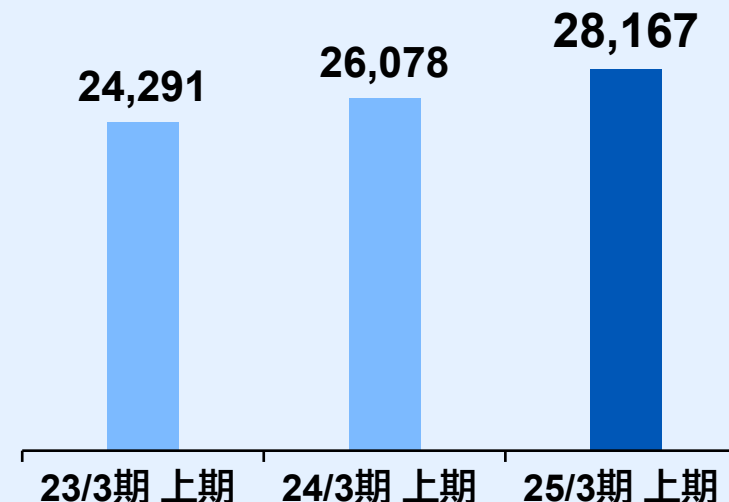
国内

バドミントンは引き続き需要が堅調で、特に2Qは新製品発売効果もありラケットを中心に販売増加。テニスは9月発売の新製品が好評となるなどラケットの販売は増加したものの、ここ数年の販売増加が一段落し微減収

海外代理店

1Qは大幅増収となった前年同期と比べて減収となったものの、2Qは堅調な需要を背景にバドミントンでは幅広い価格帯の製品の販売が増加し、為替換算も上押しとなったことで上期累計で増収

(百万円)



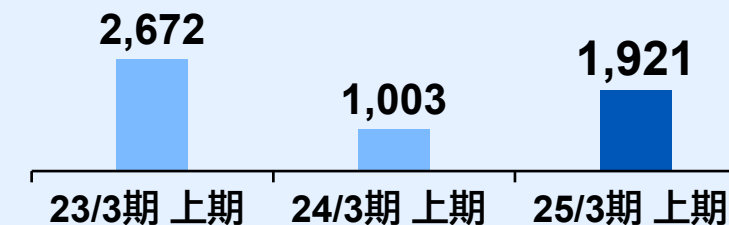
営業利益

1,921百万円

前年同期比
+91.4%

増収による粗利増に加え、海外向けは出荷価格見直しによる粗利率の改善も寄与。販管費は、システム関連費用、人件費、グローバルでの広告宣伝費等により増加も、粗利の増加が上回り増益

(百万円)



スポーツ用品事業 アジア

売上高

32,438百万円

前年同期比
+24.7%

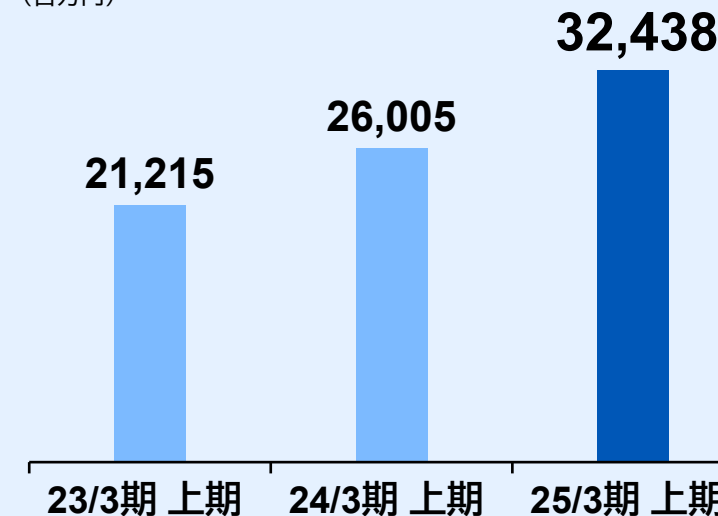
中国

6月のネットセールも販売好調となるなど引き続き需要が堅調に推移し、バドミントン用品やウェア、バッグ等の販売も増加。4月から5月にかけて開催された男女別の国別対抗戦で中国チームが男女ともに優勝し、選手の活躍も市場活性化に寄与

台湾

一般プレーヤー向け大会が頻繁に開催されるなどバドミントン市場が引き続き堅調なことに加え、国際大会での代表選手活躍の話題を活かしたマーケティングも奏功し、バドミントン用品を中心に販売増加

(百万円)



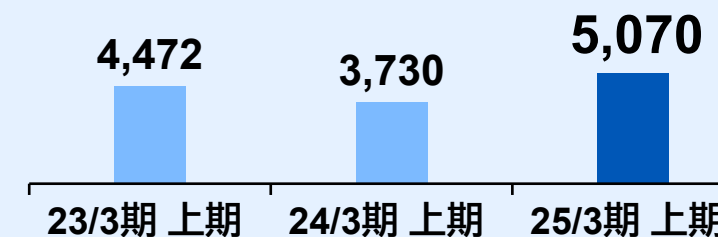
営業利益

5,070百万円

前年同期比
+35.9%

販管費は、国際大会に関連したマーケティング強化による広告宣伝費の増加に加え、新基幹システム関連費用や人件費等により増加。しかし増収に伴う粗利の増加が上回り増益

(百万円)



● 為替レート

2023年1-6月 2024年1-6月 前年同期比
1RMB **19.44円** → **21.05円** **1.61円** 円安

2023年1-6月 2024年1-6月 前年同期比
1TWD **4.40円** → **4.76円** **0.36円** 円安

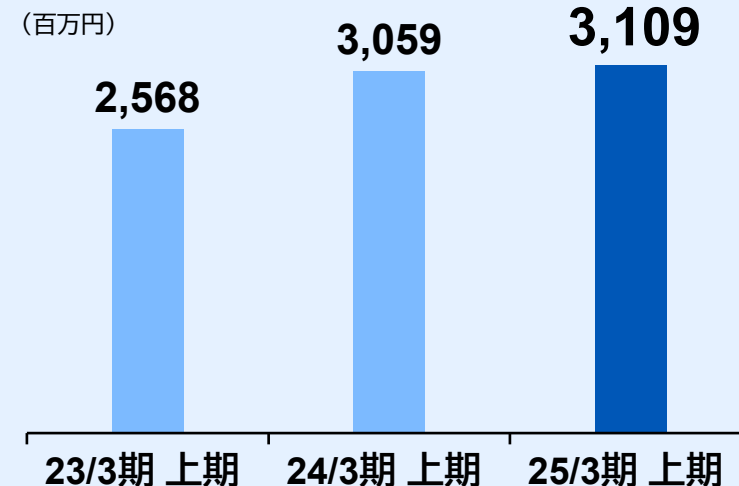
スポーツ用品事業 北米

売上高

3,109百万円

前年同期比
+1.6%

テニスは市場在庫水準が改善傾向であることに加え、当社の草の根販促活動も奏功し、ラケットだけでなくストリングの販売も増加。バドミントンは、引き続き競技は活発に行われており、ラケットの販売は増加したものの、バドミントン用品全体では活動再開で販売が大幅に増加した前年同期に比べて減収。円安による為替換算の上押しにより増収

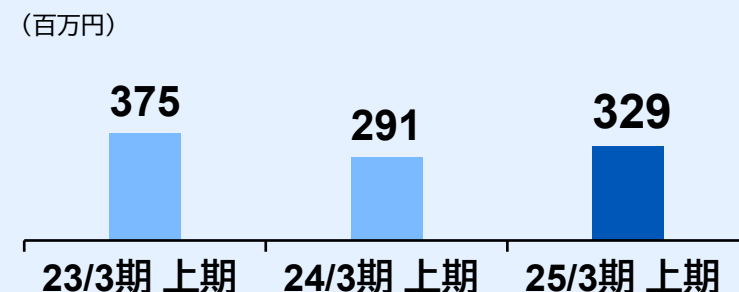


営業利益

329百万円

前年同期比
+13.2%

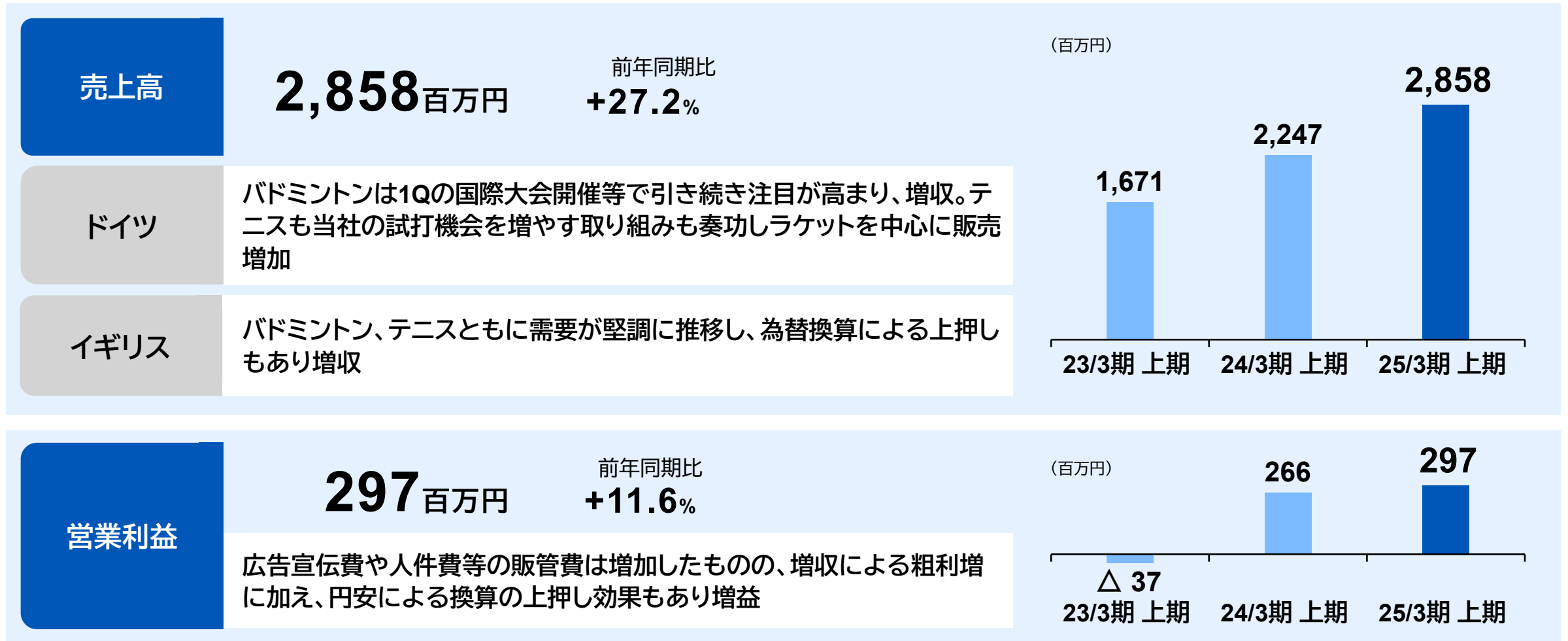
人件費等の販管費は増加したものの、セールスマックスの変化による粗利率の改善や増収に伴う粗利の増加が上回り増益



● 為替レート

	2023年1-6月	2024年1-6月	前年同期比
1USD	134.84 円	152.24 円	17.40 円 円安

スポーツ用品事業 ヨーロッパ



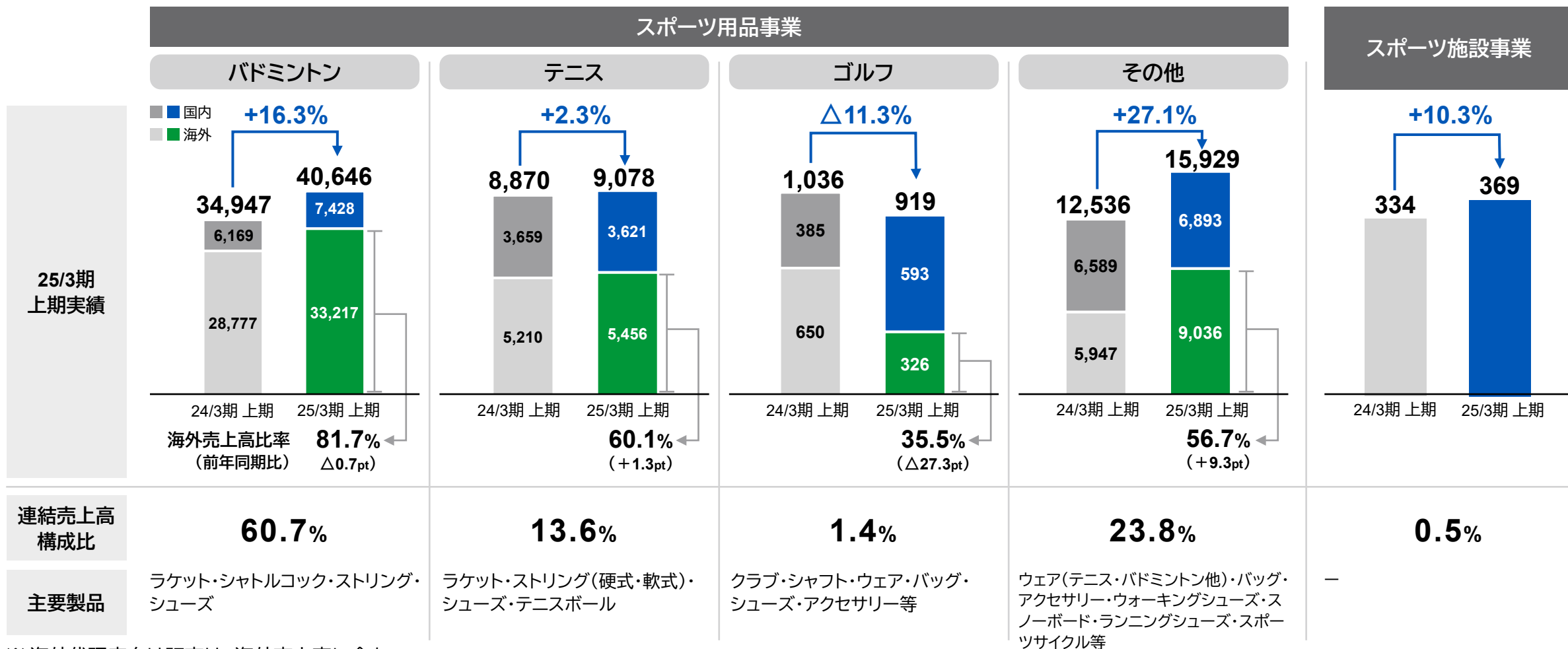
● 為替レート

	2023年1-6月	2024年1-6月	前年同期比		2023年1-6月	2024年1-6月	前年同期比
1EUR	145.77円	164.59円	18.82円 円安	1GBP	166.39円	192.66円	26.27円 円安

— 種目別売上高

バドミントンは引き続き市場が活性化し、国内・海外ともに増収。テニスは北米や欧州を中心に海外で増収。その他は主に中国でウェア、バッグ、アクセサリ等の販売が増加

(百万円)



※ 海外代理店向け販売は、海外売上高に含む

— 2025年3月期 業績予想(上方修正)

5月発表の業績予想を上方修正。今後もスポーツ市場の堅調な推移を見込む一方、さらなるファン拡大に向けた投資を強化

● 修正の理由

上期は海外、国内ともに堅調なスポーツ需要に加え、国際大会の開催等による市場の盛り上がりと円安による海外業績の上押し効果もあり、売上高、利益ともに5月公表の業績予想を上回る

● 予想の前提

- ・今後もスポーツ市場の堅調な推移を見込む
- ・国際大会での選手活躍を活かしてファンを増やすためのマーケティング投資を強化

● 為替レート(期中平均)

(円)

	24/3期 実績	25/3期 前回予想	25/3期 今回予想
1RMB	19.81	19.8	21.0
1TWD	4.50	4.5	4.7
1USD	140.55	150	150
1EUR	151.98	160	165
1GBP	174.85	185	195

(百万円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想		増減率(増減額)	
		前回予想 (5/10発表)	修正予想 (11/8発表)	前年比	前回予想比
売上高	116,442	126,000	134,000	+15.1% (+17,557)	+6.3% (+8,000)
営業利益	11,611	12,500	13,100	+12.8% (+1,488)	+4.8% (+600)
営業利益率	10.0%	9.9%	9.8%	△0.2pt	△0.1pt
経常利益	12,195	12,500	13,100	+7.4% (+904)	+4.8% (+600)
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,859	9,300	10,000	+12.9% (+1,140)	+7.5% (+700)

一 配当

安定的かつ適正な配当水準を維持することを基本方針とする。中間配当は、予想を上回る利益水準であったことから、普通配当10円に特別配当1円を追加し11円とする。これに伴い、年間配当金は21円を予定

		2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (中間決定額・ 期末予想)
1株当たり配当金(円)		4.5	10.0	13.0	16.0	21.0
中間配当金	普通	2.0	3.0	5.0	7.0	10.0
	特別	—	1.0	1.0	—	1.0
	記念	—	1.0	—	—	—
期末配当金	普通	2.5	3.0	5.0	7.0	10.0
	特別	—	2.0	2.0	2.0	—

— Yonex Performance Innovation Center 運用開始

新潟県・長岡市の工場隣接地に完成した新研究開発施設が7月に運用を開始。さらなるイノベーションに挑戦する拠点へ



▲ バドミントン、テニス両方で使用できる屋内アリーナ



最新機器を用いて、人・物・打球の
より高度な分析を行う▶

- ◀隣接する工場と連携し最短24時間のスピーディーな試作品開発が可能
- ◀テニス世界大会を想定した4種類の屋外コート



“失敗のスピードを促す”施設に

アイデアをどんどん試し、多くの失敗をして、そこからの学びを新たな発想につなげる、というプロセスを速く回していく。それによりさらなるイノベーションを生み出すことを目指します。

- ・バドミントン 選手訪問の様子は[こちら](#)
- ・プレスリリースは[こちら](#)

一 中国市場：国際大会・選手の話題による市場活性化

2Qは中国で開催された世界国別対抗戦で中国チームが男女ともに優勝。3Qもスポーツイベントの開催と中国選手の活躍による市場へのポジティブな影響が見込まれる。大会や選手活躍の話題を活かしたマーケティングに注力

国際大会での選手活躍

- 4-5月：トマス杯・ユーバー杯(男女別の国・地域別対抗戦)in 中国
- 7-8月：国際的なスポーツの祭典 in パリ

中国チームが男女ともに優勝
中国代表選手の活躍

大会会場でのブランド訴求

トマス杯・ユーバー杯
販売ブース、バドミントン体験エリア、AR撮影エリア、
選手サイン会実施



▲ヨネックスブース



▲バドミントン体験エリア

大会前後の中国代表チーム関連コンテンツ配信



▲12都市で屋外サイネージ広告配信



▲SNS動画配信

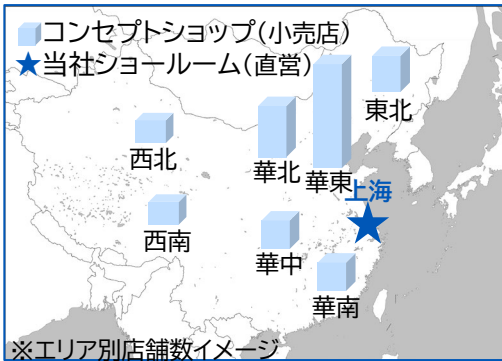
中国市場：マーケティング活動

店舗でのブランドコミュニケーション強化に加え、コラボ企画等により新たなファン獲得を図る

ヨネックスコンセプトショップ拡大

コンセプトショップ※を中国全土で拡大

※ヨネックス商品を専門に取り扱う小売店



▲ 体育館内店舗



▲ 上海のショッピングモールに新設

上海ショールーム(直営店舗)

店頭イベント、ライブコマース、会員交流会等を実施し集客



▲ 9月は国際大会を終えた中国代表男子選手3名が来店



コラボ企画

スターバックスとのコラボ企画が中国国内で話題に



公開初日
SNS、メディア
閲覧回数
1.5億回

ー テニス:全米オープン

史上最多の100万人超を動員した全米オープン2024。大会ではチームヨネックスのアメリカ勢が活躍して現地ファンを盛り上げ、ニューヨーク市内ではポップアップショップをオープン。コート内・外でヨネックスブランドの露出拡大

ニューヨーク ブロードウェイ ポップアップ

6日間で**3,000**名以上が来場

テーマは **‘World of Yonex’** 一般のお客様、テニス関係者、チームヨネックス選手が集い、ヨネックスのテニスコミュニティを体感してもらう場に



(詳細はこちら:[Yonex Tennis 公式Instagram](#))

チームヨネックス アメリカ勢の活躍



女子単 準優勝
ジェシカ・ペグラ選手
(アメリカ)



男子単 ベスト4
フランシス・ティアフォー
選手(アメリカ)



女子単 ベスト4
エマ・ナバロ選手(アメリカ)

海外テニス拡大に向けた取り組み

さまざまな側面からのアプローチにより、海外テニスの売上高は2019年3月期上期と比較し4.3倍に拡大

- グランドスラムでの選手使用率上昇
- Head to Toe契約(総合契約)選手増加



エレナ・ルバキナ選手
(カザフスタン)

グランドスラム使用率※

※当社調べ

プロ: **2**位 / ジュニア: **1**位

ジュニアは2024年の
グランドスラム全てで1位

ブランド認知
拡大

製品への
評価

海外テニス
売上高
4.3倍

(19/3期上期比)

販路拡大

試打機会
創出

- テニスボールの販売により、総合テニスメーカーとしての提案強化
- ブランド認知拡大と需要増に伴う取り扱い増加



- 品質・性能への高評価
- 新製品・新デザインの好評



▲人気シリーズ「EZONE(イーゾーン)」の
新デザイン「アクアナイトブラック」

草の根販促活動を世界各地で実施

▶ラケットに加え、ストリングの販売も増加



ー ゴルフ: 当社契約プロ 岩井姉妹が活躍

当社契約プロ、双子の岩井姉妹が国内ツアーで活躍。選手の活躍を支える当社クラブへの注目も高まる

岩井姉妹

姉妹で通算**13勝**※

10月開催の「樋口久子 三菱電機レディスゴルフトーナメント」では、千怜選手が大会新記録で優勝。明愛選手は2位となり姉妹ワンツーフィニッシュを果たす



岩井 明愛(あきえ)選手
今季**3勝**、通算**6勝**※

岩井 千怜(ちさと)選手
今季**3勝**、通算**7勝**※

※JLPGAレギュラーツアーでの優勝数、2024年11月8日時点

選手の活躍を支えるヨネックスクラブ

最新のカーボン技術を搭載し機能性を追求。カーボン技術におけるラケット製品との相乗効果でイノベーションを追求

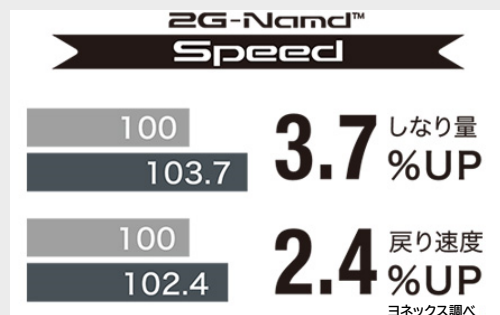
「EZONE GT(イーゾーン ジーティー)」新モデル 2024年4月発売
ドライバーは、オフセンターヒットでも高初速で飛ばす新構造「ストライクスピード・カーボン」を採用

ストライクスピード・カーボン

素早いしなり戻りと高い復元力を生む先進カーボン「2G-Namd™ Speed※」をソール部に複合

2色の岩井姉妹カラーモデル発売

岩井姉妹モデルのマゼンタ(左)とターコイズブルー(右)



※Namd™及び2G-Namd™はニッタ㈱の日本における登録商標です。

(詳細はこちら: [製品プレスリリース](#))



Appendix

— 参考：国内／海外法人の決算期について

日本セグメント(国内事業・海外代理店向け販売)は3月決算、海外現地法人は12月決算であり、連結決算における対象期間は以下のとおり

● 2025年3月期上期 連結決算の対象期間(会社別)

	2024年												2025年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日本セグメント (国内+海外代理店向け)				第1四半期 (1Q)			第2四半期 (2Q)			第3四半期 (3Q)			第4四半期 (4Q)		
アジア、北米、 ヨーロッパセグメント (海外子会社)	第1四半期 (1Q)			第2四半期 (2Q)			第3四半期 (3Q)			第4四半期 (4Q)					

一 セグメント別売上高推移

	(百万円)				
	2021年3月期 上期	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期
日本 (国内+海外代理店向け)	12,043	18,836	24,291	26,078	28,167
アジア (子会社)	8,005	13,344	21,215	26,005	32,438
北米 (子会社)	923	1,451	2,568	3,059	3,109
ヨーロッパ (子会社)	873	864	1,671	2,247	2,858
施設事業	247	290	346	334	369
連結売上高	22,093	34,788	50,092	57,725	66,942

日本セグメント

日本国内向け及び海外代理店向け販売
(東南アジア、インド、韓国、フランス、オーストラリア等)

アジアセグメント

中国・台湾・インド・タイ子会社

北米セグメント

北米子会社(アメリカ・カナダ)

ヨーロッパセグメント

イギリス・ドイツ子会社

一 地域別(仕向地別)売上高推移

(百万円)

	2021年3月期 上期	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期
日本	9,648	14,417	17,135	17,138	18,906
海外売上高	12,444	20,370	32,956	40,586	48,035
アジア地域	9,778	16,860	25,343	32,150	38,567
北米地域	923	1,451	2,568	3,059	3,109
ヨーロッパ地域	1,567	1,326	4,098	4,498	5,501
その他	174	732	946	878	857
合計	22,093	34,788	50,092	57,725	66,942
海外売上高比率	56.3%	58.6%	65.8%	70.3%	71.8%

日本 | スポーツ施設事業を含む日本事業
アジア地域 | 中国・台湾・東南アジア・韓国・インド 他
北米地域 | アメリカ・カナダ

ヨーロッパ地域 | ドイツ・イギリス・デンマーク・フランス 他
その他 | オーストラリア・中近東・中南米 他

*海外代理店向け販売は、海外売上高に含む

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略等は、当社が作成日時点において把握できる情報から得た判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。